

会 議 録

会 議 名	第 6 1 回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	1 議案 (1)市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について（公開） (2)令和 8 年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について（公開） (3)「(仮称)のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2 0 2 6」の開催計画（案）について（公開） 2 協議事項 (1)令和 7 年度の活動報告と令和 8 年度以降に向けて（公開） ① 開催結果報告 ・ 第 7 回こまめカフェ 3 報告事項 (1)令和 7 年度市民活動支援センターの事業実施報告について（公開） (2)令和 8 年度市民活動団体支援補助金交付決定団体について（公開） (3)令和 8 年度市民活動支援センターの登録状況（令和 8 年 4 月 1 日現在）について（公開） (4) 令和 8 年度市民活動支援センターの体制について（公開）
日 時	令和 8 年 4 月 2 8 日（火） 午後 2 時から午後 4 時 1 0 分まで
場 所	野田市総合福祉会館 3 階 第 3 会議室
出席者氏名	会 長 立山 喜弘 委 員 北倉 恵美子、北村 一郎、後藤 すみよ、 芝田 栄太郎、谷村 節士、辻 朝子、 渡邊 勝男、浅野 泰泉、山田 千英 事務局 市民生活部長 池田 亜由美 市民生活課長 須賀 良平 市民生活課長補佐 松井 智生

	市民活動支援センター長 鈴木 智子 支援補助員 向佐 美知子 コーディネーター 荒井 ハツヨ コーディネーター 藤野 孝子 コーディネーター 武原 忠志
欠席委員氏名	なし
傍聴者	なし
議 事	第61回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 2 市民生活部長挨拶 池田市民生活部長挨拶 3 自己紹介 各委員及び事務局職員の自己紹介を行った。 4 議事 松井市民生活課長補佐 委員改選後、初めての会議であり会長、副会長が不在のため、会長が決定するまで市民生活部長に仮議長をお願いしてよいかを各委員に問うた。 <異議無し> 議案(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について 仮議長（池田市民生活部長） 議案(1)について説明を求めた 須賀市民生活課長 議案(1)「市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について」を説明した。	

仮議長（池田市民生活部長）

議案(1)について、まず会長を決定するため、選出方法について各委員に意見を求めた。

渡邊委員

指名推選でお願いしたい。

仮議長（池田市民生活部長）

他に意見はないかを問うた。

<異議無し>

仮議長（池田市民生活部長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

渡邊委員

立山委員を推薦したい。

仮議長（池田市民生活部長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

<なし>

仮議長（池田市民生活部長）

立山委員を会長に決定することについて問うた。

<異議無し、立山委員を会長に決定する。>

議長（立山会長）

会長席に移動し挨拶した。

<会長挨拶>

議長（立山会長）

副会長を決定するため、選出方法について各委員に意見を求めた。

渡邊委員

指名推選でお願いしたい。

議長（立山会長）

他に意見はないかを問うた。

<異議無し>

議長（立山会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

渡邊委員

北倉委員を推薦したい。

議長（立山会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

<なし>

議長（立山副会長）

立山委員を会長に決定することについて問うた。

＜異議無し、北倉委員を副会長に決定する。＞

北倉副会長

副会長席に移動し挨拶した。

＜副会長挨拶＞

議長（立山会長）

議案(2)の前に、協議事項及び報告事項から審議をすることについて了承を求めた。

各委員

了承

協議事項(1) 令和7年度の活動報告と令和8年度以降に向けて

議長（立山会長）

協議事項(1)について、説明を求めた。

武原コーディネーター

協議事項(1)「令和7年度の活動報告と令和8年度以降に向けて」を説明した。

議長（立山会長）

協議事項(1)について、委員に意見を求めた。

谷村委員

アイスブレイクとはどういうものか。

武原コーディネーター

ゲームなどをして、参加者の心をほぐすもの。

議長（立山会長）

ほかの団体を知る機会となり、大変よかったという意見があるようだが、参加者からはこれからどうやって交流を進めようかという意見はあったか。

武原コーディネーター

この場ではなかった。

議長（立山会長）

そうになっていくとよいと思う。今後とも指導をお願いしたい。

山田委員

議案(2)において、令和8年度実施事業のうち「市民活動はじめて講座」が

旧こまめカフェであると記載されているが、どういうことか。

武原コーディネーター

令和7年度まではこまめカフェとして実施したが、令和8年度からは内容を変更して実施する。のちほど説明する。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、協議事項(1)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議無しとのことなので、協議事項(1)のとおりとする。

報告事項(1) 令和7年度市民活動支援センターの事業実施報告について

議長（立山会長）

報告事項(1)について、説明を求めた。

荒井コーディネーター、藤野コーディネーター

報告事項(1)「令和7年度市民活動支援センターの事業実施報告について」を説明した。

議長（立山会長）

報告(1)について、委員に意見を求めた。

谷村委員

登録団体のうち、子どもゆめ基金で190万円が採択された事例があるが、どのような内容であったか。

荒井コーディネーター

採択団体は、子どもを対象に飛行機や熱気球のワークショップを実施している団体である。

当基金は、同内容の事業を継続実施しても申請することができるが、子どもの体験活動や読書活動など、事業が限定されている。

芝田委員

自分が子ども会会長であった時、当基金を活用して150万円のキャンプセット購入費用を支援していただいた。こういった基金はぜひ活用してほしい。

渡邊委員

初めて団体交流会を開催したようだが、内容はどんなものだったか。

武原コーディネーター

今回は施設訪問ボランティア団体を対象に開催した。開催のきっかけとして、今まで団体同士の交流がなく、従来ボランティア先に1団体が訪問しているが、2団体程度で訪問してみたいというような意見をいただいたことによる。結果として交流会には10団体が参加し、活発な意見交換ができた。好評であったが、今年度は交流のかたちを変えて実施していきたい。

議長（立山会長）

どのようにかたちを変えていくのか。

池田市民生活部長

団体交流は1回だけではなく、年間をとおして交流を図ることが大事である
と考える。

前回の当協議会において説明したとおり、（仮称）のだ市民活動ふれあいフェスティバルは立案の段階から活動分野ごとに集まる機会を持つことで考えており、フェスティバル当日だけでなく準備等を含めフェスティバルに係る活動全体を通じて交流をしていくこととしたい。

そのほか、市民活動支援センターには3名のコーディネーターが在籍しているが、今年度からは活動分野ごとの担当制とし、自らが団体に出向いて支援することとした。これにより各団体の現状を把握し、団体のマッチングやコーディネートを行っていく予定である。今年度実施し、状況や要望によっては令和9年度に見直すなど、柔軟に対応したい。

議長（立山会長）

イオンノア店内会議室は有効に活用されていると思われるが、利用状況はどうか。

向佐支援補助員

会議室は2部屋あり、いずれもほぼ毎日利用されている。

議長（立山会長）

センター内のフリースペースはいかがか。パソコンの利用する場合は持ち込むのか。

向佐支援補助員

もっとも利用が多いのは日曜日である。また、当日に申請し利用される方もいる。

パソコンは団体利用用に2台設置しており、プリンター利用も可能である。持ち込んだパソコンで作業していただくことは問題ないが、印刷は設置してあ

るパソコンでのみ可能である。

山田委員

のだ市民活動ふれあいフェスティバルにおいて、スタンプラリーで黒酢米が参加賞として配布されたが、参加賞はどのようにして決定したのか。

須賀市民生活課長

スタンプラリー参加賞については、当協議会においてもご意見をいただいたりしながら、毎年いろいろなアイデアを出して検討したうえで決定している。

昨年度は、市農政課と協議し2合入200袋を提供していただいた。また、このほか野田市の水やトイレットペーパーを参加賞として配布した。

今年度もスタンプラリーを実施したいと考えているが、実行委員会を立ち上げてから皆さんで内容を決定していきたい。

議長（立山会長）

スタンプラリー参加者は多かったようだが、そういった工夫によるものだと思う。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(1)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議無しとのことなので、報告事項(1)のとおりとする。

報告事項(2) 令和8年度市民活動団体支援補助金交付決定団体について

議長（立山会長）

報告(2)について、説明を求めた。

鈴木市民活動センター長

報告事項(2)「令和8年度市民活動団体支援補助金交付決定団体について」を説明した。

議長（立山会長）

報告(2)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

意見がないようなので、報告事項(1)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議無しとのことなので、報告事項(2)のとおりとする。

報告事項(3) 令和8年度市民活動支援センターの登録状況（令和8年4月1日現在）について

議長（立山会長）

報告(3)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項(3)「令和8年度市民活動支援センターの登録状況（令和8年4月1日現在）について」を説明した。

議長（立山会長）

報告(3)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

令和6年度と令和7年度の登録団体数が同じなのはなぜか。

向佐支援補助員

増減があったものの、結果として同数となったもの。

渡邊委員

新型コロナ禍では団体数が大幅に減少したと思うが、令和6年度から7年度にかけて団体数が増加している。この要因は何か。

向佐支援補助員

コロナ禍では団体活動が休止となり、廃止した団体も多かった。

最近では子どもの居場所事業や、そのほか若い世代が団体を立ち上げ活動するようになってきた傾向があるため、団体増となったものと思われる。

渡邊委員

若い世代にも市民活動が認知されているのはよいことだが、法人数が伸びていないのは残念である。法人化して組織として活動したほうがよいと思う。

辻委員

今の説明や資料から、子どもの居場所事業関連の団体が増えたというのは、この事業が今必要なものなのだとことを実感した。外で遊ぶ子どもを見かけることが少なくなり、昔は当たり前であった子どもの自治というものが減ってきている。

また、家庭や職場以外に大人にも居場所があるというのは、市民活動の価値であると思う。大人や高齢者の居場所を、お互いに助け合ってどのように活動していけるかを考えた。

議長（立山会長）

大人の居場所事業は重要だと実感した。

後藤委員

子どもの居場所事業のほか、若い世代の方たちが団体を立ち上げたの説明があったが、具体的にどんな目的で団体を立ち上げたのか。また、年齢層は。

向佐支援補助員

子ども食堂事業が多いが、そのほか人形劇団が登録した。

年齢層は40～50代であるが、人形劇団は30代と思われる。

浅野委員

プラモデルの団体もあったと思う。また人数は。

向佐支援補助員

昨年、プラモデルの会が登録した。当初「活動において塗料など臭いの出るものを使うので、活動する場所に困っている」との相談があり、公民館の美術室を利用するのはどうかという助言をした。

3～5名程度だったと思う。

浅野委員

梅郷駅付近に、大人の居場所のようなものはない。

後藤委員

野田市駅付近にもない。

浅野委員

駅前には無限の可能性があると思う。野田市駅前では野田の食を盛り上げる会が定期的に夕焼けマルシェを開催している。そういったイベントは応援していきたい。

北村委員

報告や委員の意見を聞き、市民の皆さんの熱意が大事だと感じた。そのために自身にはどういったことができるのか勉強していきたい。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(3)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議無しとのことなので、報告事項(3)のとおりとする。

報告事項(4) 令和８年度市民活動支援センター体制について

議長（立山会長）

報告(4)について、説明を求めた。

鈴木市民活動支援センター長

報告事項(4)「令和８年度市民活動支援センター体制について」を説明した。

議長（立山会長）

報告(4)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

コーディネーターが団体へ出向くということだが、要望がなくても自発的に出向くのか。

武原コーディネーター

要望がなくても訪問したいと考えている。

そのほか、商工会議所やライオンズクラブ、そのほか経済団体などへの市民活動への理解や支援を求めている。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(4)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議無しとのことなので、報告事項(4)のとおりとする。

議案(2) 令和８年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について

議長（立山会長）

議案(2)について、説明を求めた。

鈴木市民活動支援センター長

議案(2)「令和８年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について」を説明した。

池田市民生活部長

今年度は協働のまちづくりということで、教育委員会と連携を図っていききたい。例えば土曜授業が廃止となったことから、子どもの選択肢を提案したいと考えており、校長会や教育支援コーディネーター会議などで説明していきたいと考えている。

議長（立山会長）

議案(2)について、委員に意見を求めた。

北倉副会長

福田地域の小中学校が統合され、使わなくなった校舎はどうするのか。プールや校庭などがあり、市民活動で利用することができれば活動がひろがる。

子どもも大人も一緒に遊ぶことができる、また、障がいがあってもなくても集える場所があるような、そういったまちづくりをしたい。

池田市民生活部長

福田義務教育学校は福田中学校を改修することとしており、使わなくなった小学校について教育委員会が検討を進めている。

市民活動支援センターについては、当面は市直営とするが、いずれはNPO団体が運営することを想定しており、市としては現在もNPO団体に運営をお願いしたいと考えている。

その場合、やはり拠点となる施設も必要だと思うので、今後は皆さんとかなえていきたい。

芝田委員

二川地区にいくつかの広場があるので、ぜひ市民活動で使ってほしい。やすらぎの郷のそばにスポーツパークもオープンしたので、活用してほしい。

議長（立山会長）

まちづくり研修は実施するのか。

池田市民生活部長

今後も実施する。

議長（立山会長）

市と市民活動団体が一緒に活動しないとまちづくりにはならない。ぜひ実施してほしい。

辻委員

職員向けまちづくり研修は複数年にわたって実施していると報告をうけたが、そのうえでまちづくりの進捗や、野田市をどう作りあげていくのかを報告してほしい。

また、先ほど意見があったように、人が集まるような場所は本当に必要と感じる。まちづくりという言葉から、駅前や小学校跡地など地域の人が楽しめたり集えたりすることのできる場所ができたらいと思う。

北村委員

空き校舎などを利用する場合、市民活動支援センターはどういう役割になるのか。市の所有地の場合は、簡単に利用することができないのではないかな。

須賀市民生活課長

小中学校が統合して小学校は空き校舎となる見込みである。教育委員会においても利用について検討しているが、現在は方針が決まっていない。

教育委員会が所管しているが、今後は有効活用できる部署へ所管替えをするのか、もしくは教育委員会所管のまま貸し出すのか等の方針が決まっていない。しかし、教育委員会から照会等があった場合、団体から跡地の有効活用などの要望があれば、ぜひ利用したいと市民生活課から手を挙げていきたい。

芝田委員

木間ヶ瀬小学校でも空き教室が多くあるが、一般などに開放していない。市民活動団体が使用するのハードルが高いように感じる。

北村委員

教育財産などを利用する場合は、まず計画を整理すべきだと思う。

渡邊委員

野田市総合計画のような、小中学校統合に関する計画はあるのか。

学校の統廃合は一朝一夕でできるものではないが、市民の声を聞く場やグラウンドデザインなどがあれば私たちの活動もより生きてくると思う。

池田市民生活部長

福田地区の中学校1校と小学校3校を統合する計画であるが、その他の地域については聞いていない。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、議案(2)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議無しとのことなので、議案(2)のとおりとする。

議案(3) 「（仮称）のだ市民活動ふれあいフェスティバル2026」の開催計画（案）について

議長（立山会長）

議案(3)について、説明を求めた。

鈴木市民活動支援センター長

議案(3)「(仮称) のだ市民活動ふれあいフェスティバル2026」の開催計画(案)について」を説明した。

議長(立山会長)

議案(3)について、委員に意見を求めた。

議長(立山会長)

第1回目の実行委員会で開催内容が決まるのか。

鈴木市民活動支援センター長

事業計画及び開催計画について決定したいと考えている。

議長(立山会長)

ほかに意見がないようなので、議案(3)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長(立山会長)

異議無しとのことなので、議案(3)のとおりとする。

松井市民生活課長補佐

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和8年7月29日を予定している。

議長(立山会長)

会議の閉会を宣言した。